

地方公共団体における規制改革の検討経緯等

※規制改革の提案について、地方公共団体における検討経緯や苦勞した点等について、内閣府が把握している内容。

- ・ 規制改革より、先端的サービスの検討に時間・労力等を費やした。
- ・ 規制改革の提案内容の具体化より、規制改革の項目数の増加に重点を置いた。
- ・ 事業者等から規制改革の提案が予想以上に少なかった。
- ・ 地方公共団体内部で規制改革について検討したが、制度を変えるという発想が少なく、良い案が出てこなかった。
- ・ 地域内でデジタル化・DXの取組みが遅れているため、規制改革がなくても実施可能なサービスが多かった。
- ・ 規制改革の検討に当たり、法令等の専門的知識を有する人材が不足していた。
- ・ 規制改革の提案が大胆であればあるほど、実現する可能性が低くなるため、その内容について住民に説明し、合意を得ることが難しいと考えた。